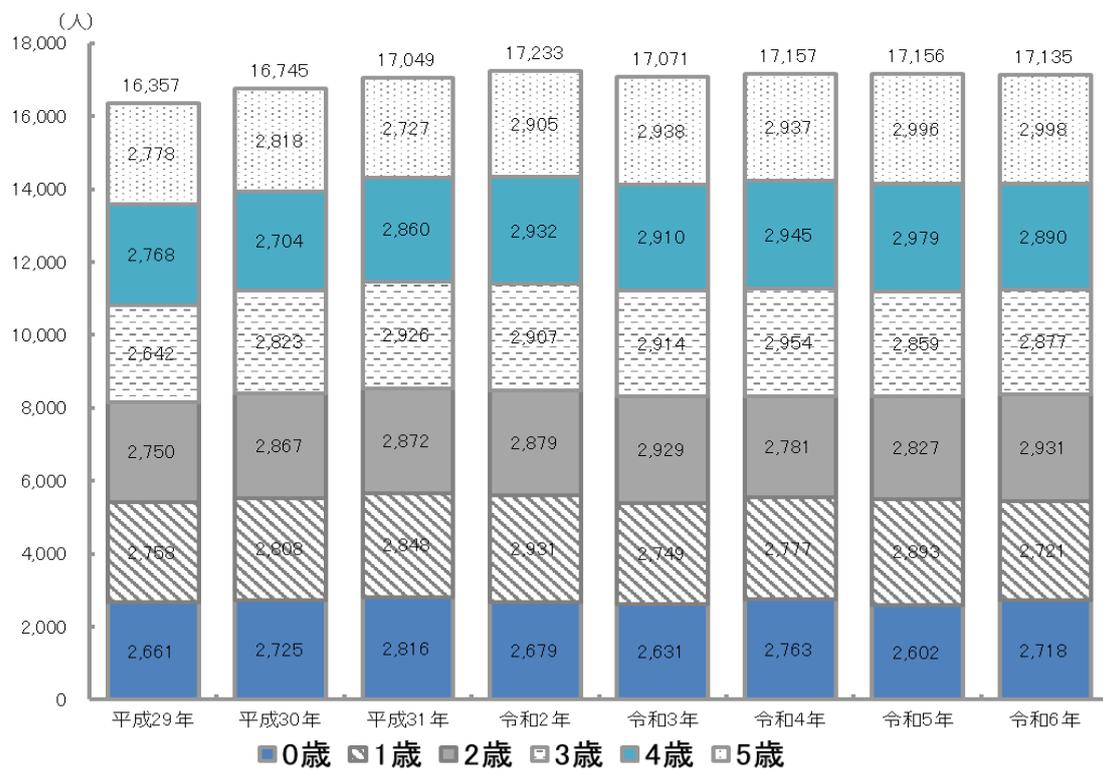


第 2 章 子ども・子育てを取り巻く現状

1 明石市の子どもをめぐる状況

(1) 子どもの人口の推移

本市の 0 歳から 5 歳の人口は 2020 年（令和 2 年）度をピークに、おおむね横ばいで推移しています。



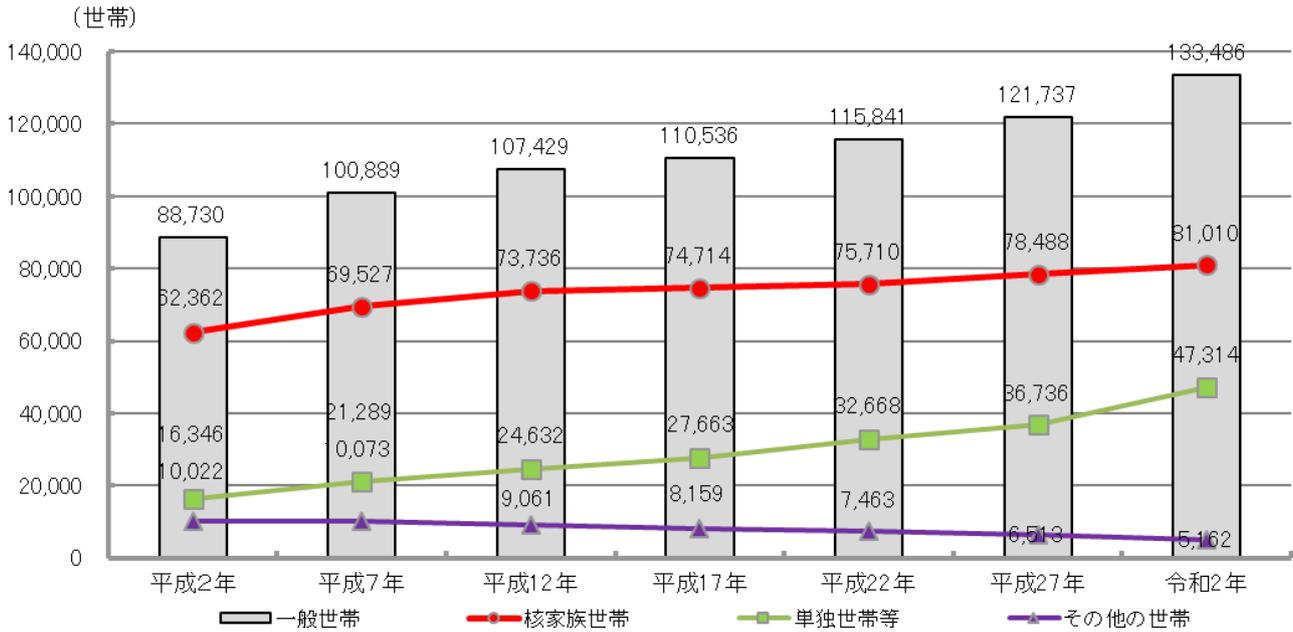
資料：住民基本台帳（各年 4 月 1 日現在）

(2) 世帯構成の状況

本市の世帯数は増加傾向にあり、2020年（令和2年）で133,486世帯となっています。一般世帯※1における世帯数の推移は、核家族世帯※2及び単独世帯※3が増加傾向にある一方で、祖父母・両親・子どもで構成される3世代世帯を含むその他世帯が減少傾向にあります。

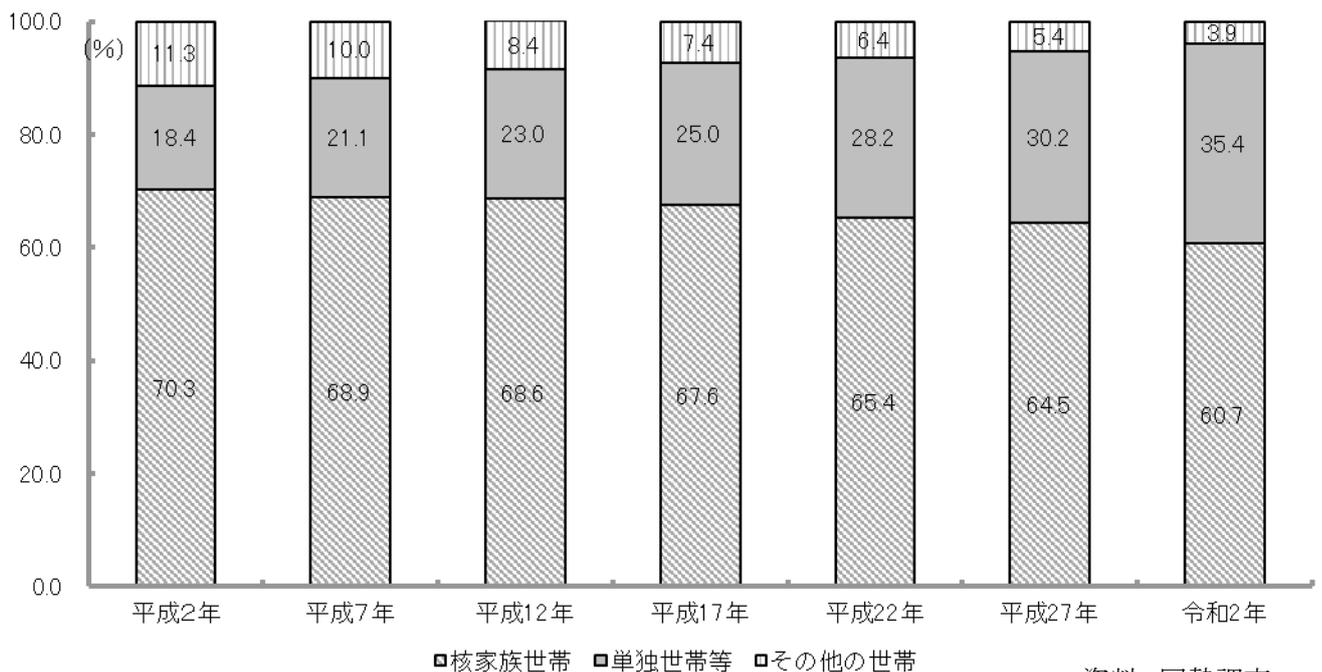
なお、世帯構成では、核家族世帯の占める割合が最も高く、2020年（令和2年）で60.7%となっています。

【世帯数の推移】



【世帯構成の推移】

資料：国勢調査

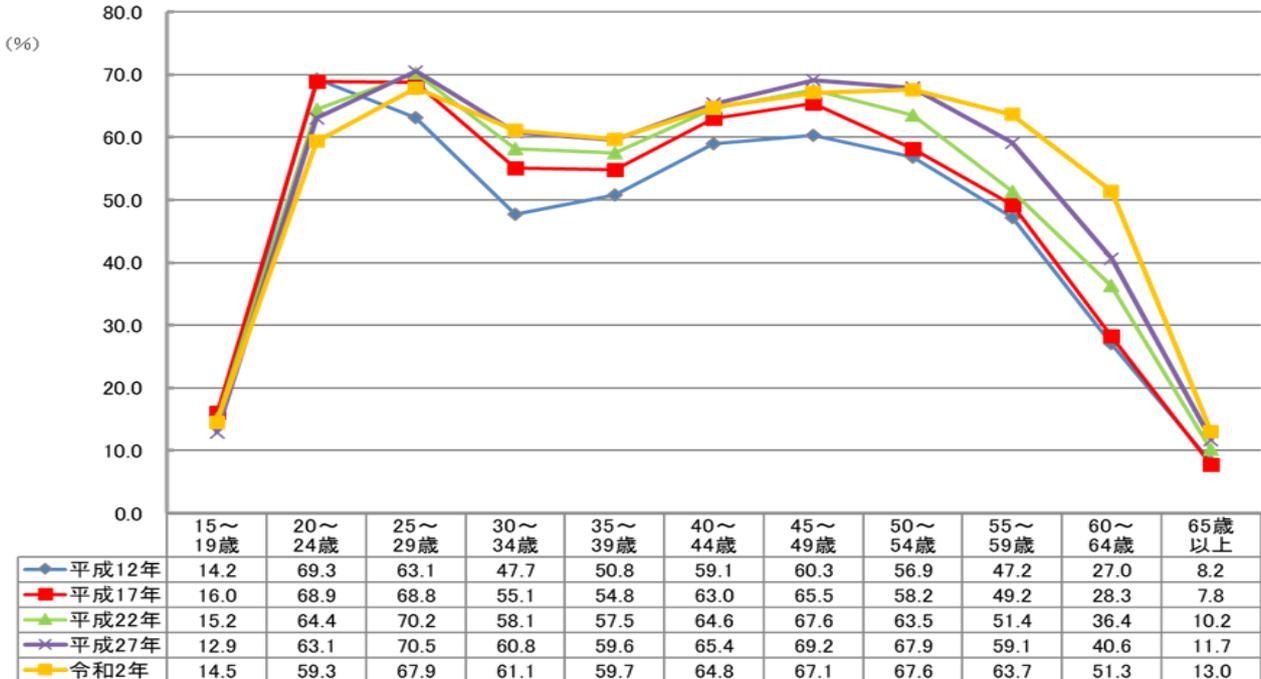


資料：国勢調査

(3) 女性の労働状況

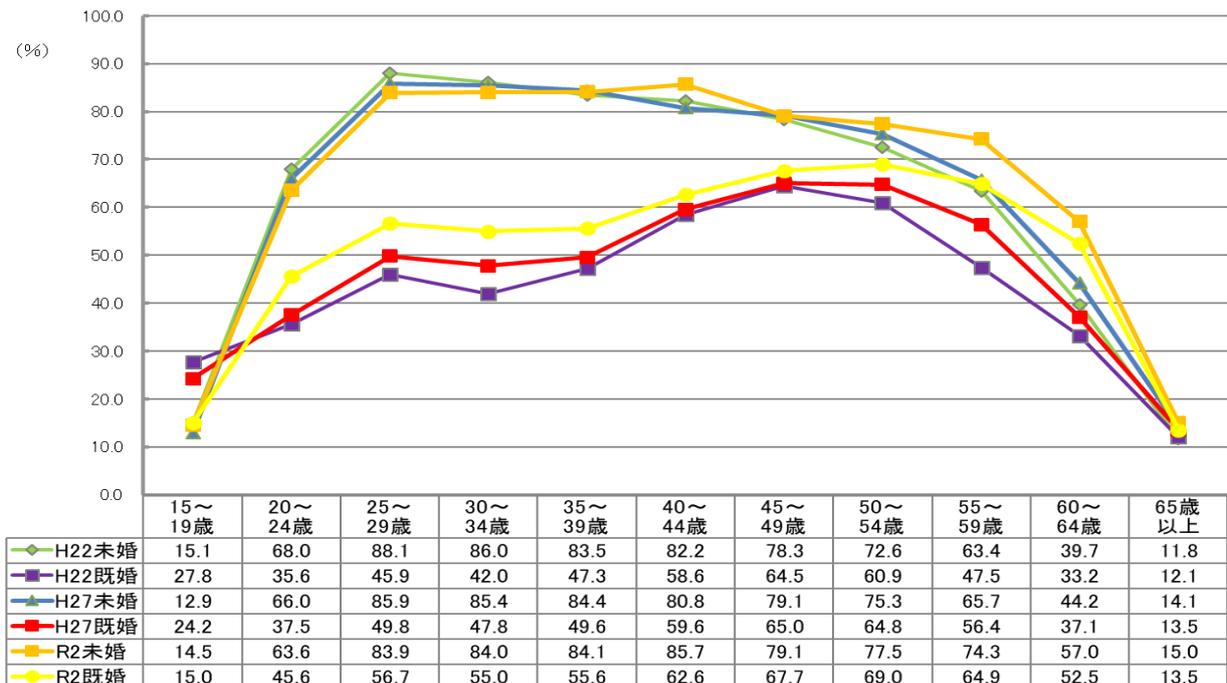
女性の年齢別労働力率※4は、結婚・出産期に当たる年代に一旦低下し、育児が落ち着いた時期に再び上昇するというM字カーブを描いています。2020年（令和2年）度の調査では前回までの調査と比べて55歳以上の労働力率が上昇しており、下段のグラフでも同様の傾向が見られます。

【女性の年齢別労働力率】



資料：国勢調査

【女性の未婚・既婚別労働力率（平成22・27年、令和2年）】

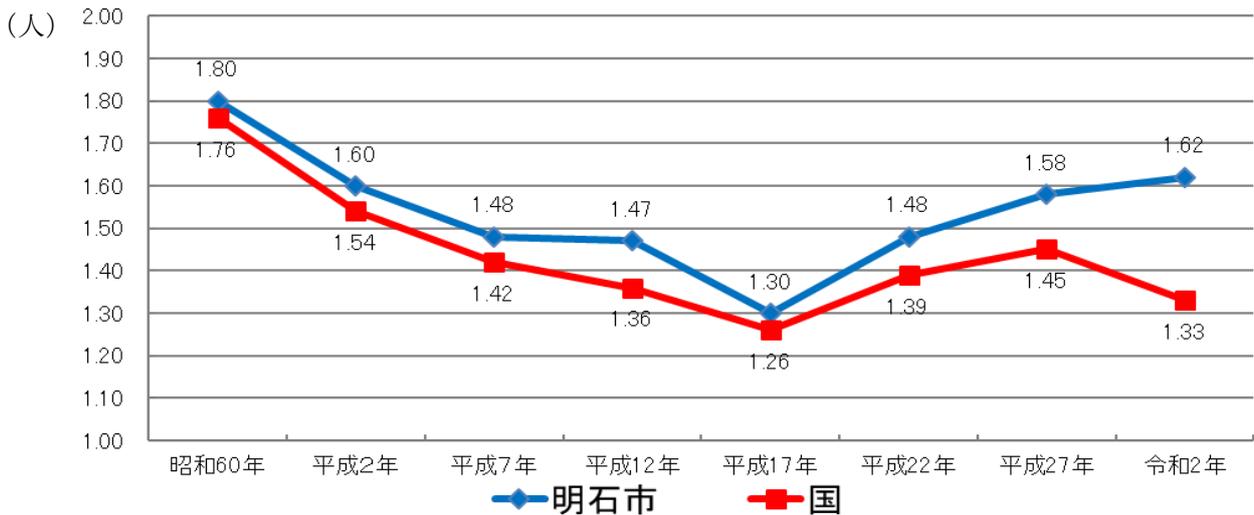


資料：国勢調査

(4) 合計特殊出生率の推移

合計特殊出生率とは、15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が、仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に産むとしたときの平均の子ども数であり、この数字は一般に少子化問題との関係で用いられ、数値が2.08を下回ると人口が減少に転じるといわれています。

本市の合計特殊出生率は、国を上回って推移しています。2020年（令和2年）度の調査では国は前回比で減少に転じましたが、明石市は前回比を上回る形で推移しています。

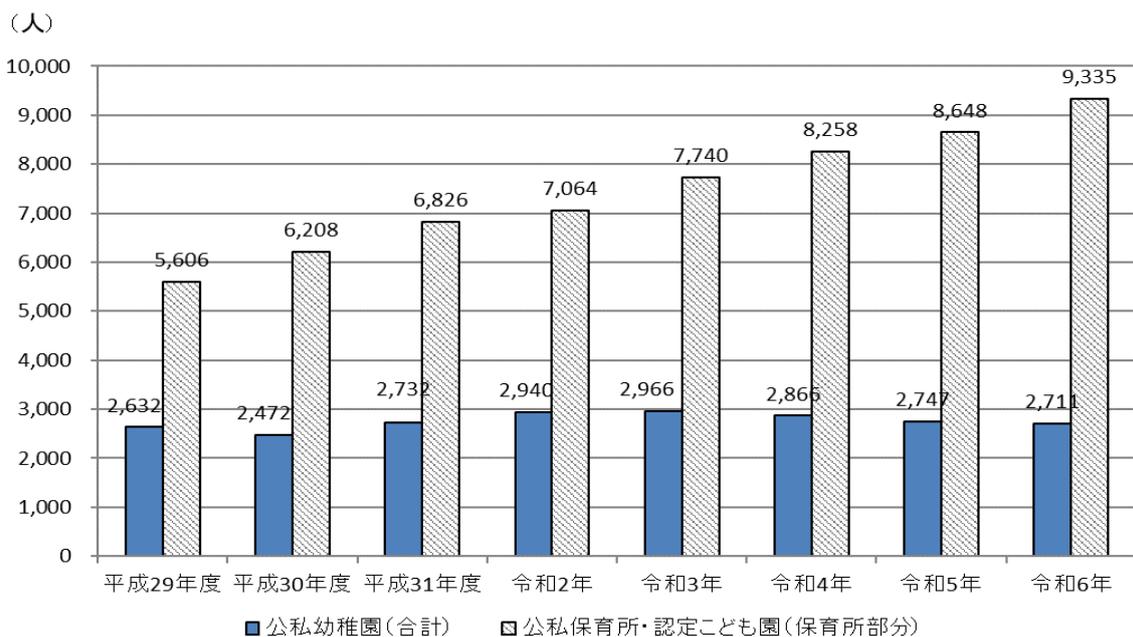


資料：国勢調査

(5) 就学前児童の幼稚園、保育所・認定こども園入所状況

幼稚園、保育所・認定こども園（以下、保育所等という。）の入所者数は、幼稚園では2021年（令和3年）度をピークに微減傾向にありましたが、概ね横ばいで推移しています。

保育所等については2017年（平成29年）度からの8年間で約3,700人増加しております。

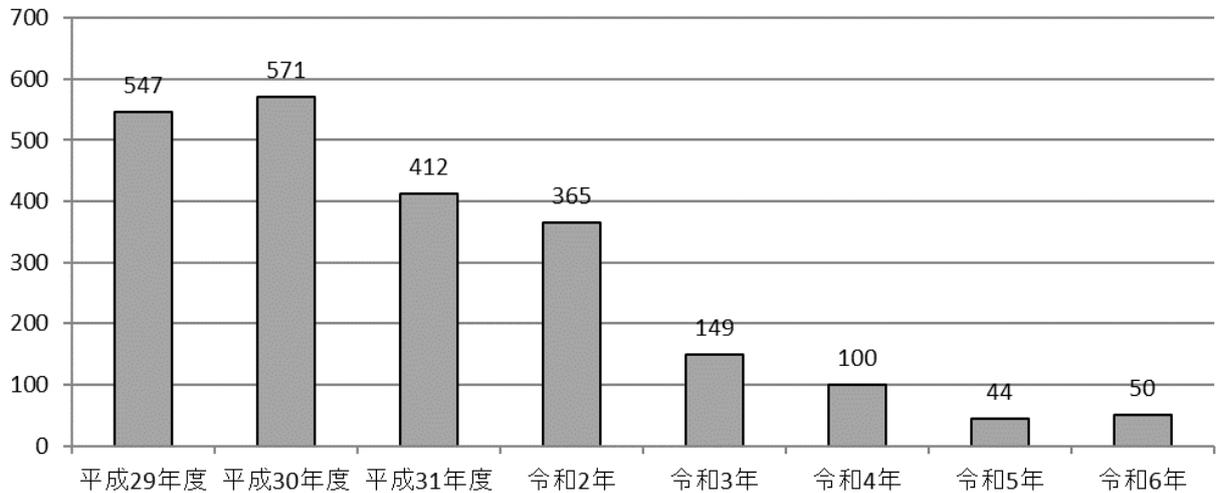


資料：こども育成室（幼稚園は5月1日、保育所は4月1日現在）

(6) 保育所等待機児童の推移

本市の保育所等待機児童数は、2018（平成30年）度をピークに年々減少してきており、令和6年度では50人まで減少しております。

(人)

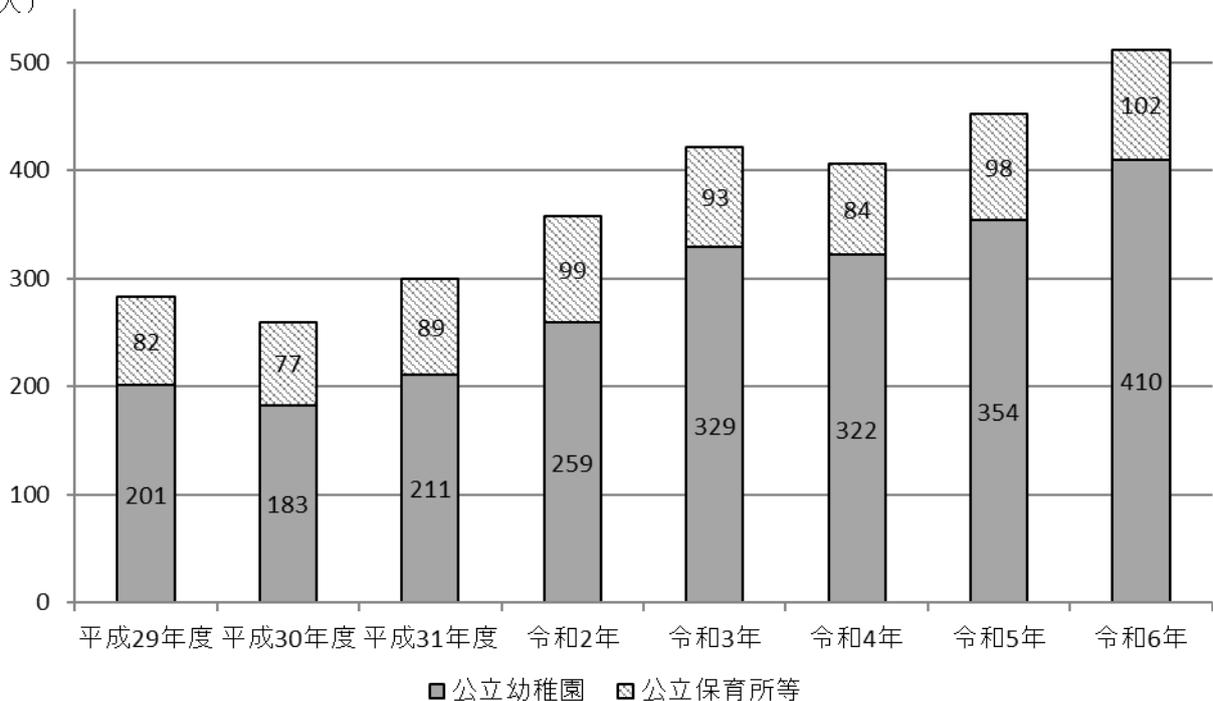


資料：こども育成室（各年4月1日現在）

(7) 特別な支援が必要な子どもの推移（公立）

本市の特別な支援が必要な子どもの人数は、幼稚園、保育所等とも増加傾向にあります。

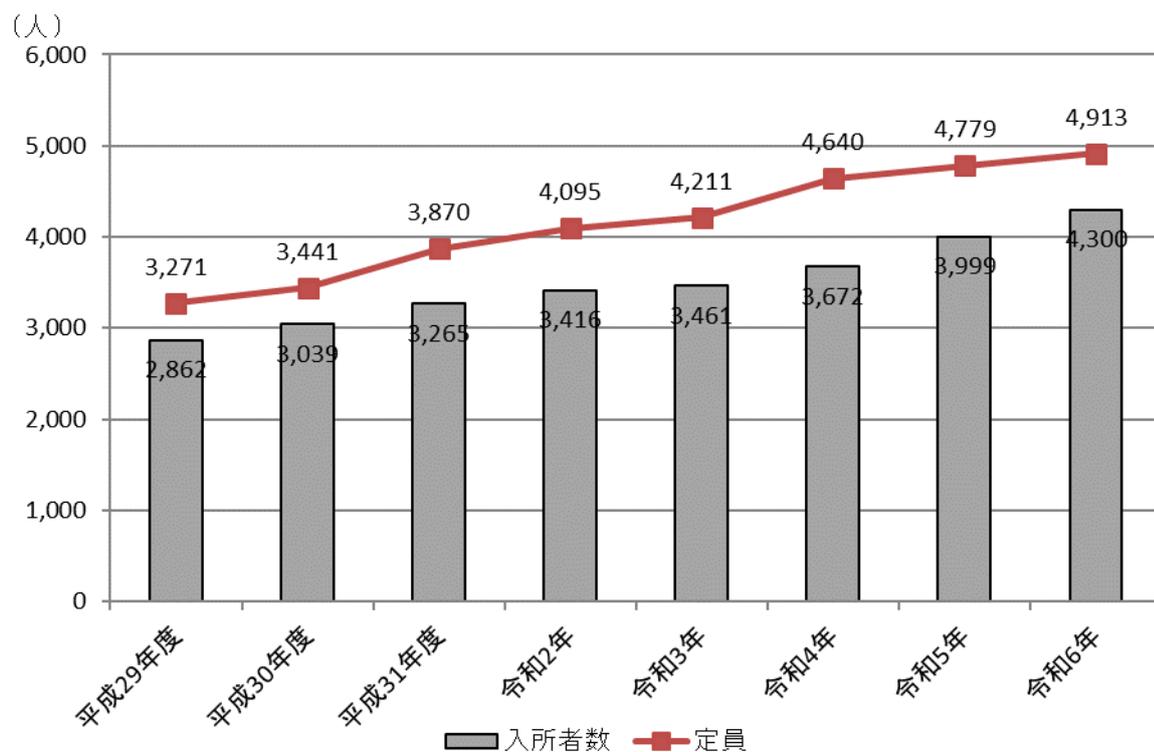
(人)



資料：こども育成室（各年4月1日現在）

(8) 放課後児童クラブの状況

放課後児童クラブの入所者数は年々増加しており、2024（令和6）年度には、4,913 人となっています。



資料：こども育成室（各年4月1日現在）